

市長タウンミーティング概要（柏ヶ谷コミュニティセンター）

令和7年2月22日（土）16:00～17:10

○意見交換

〔質問〕

海老名駅周辺のまちづくり開発に際して、ツバメの巣へ配慮をしていただきたい。3月から7月の巣作りの期間は巣のある自由通路周辺の開発を避け、ぜひツバメを守ってほしい。

〔回答〕

海老名駅周辺のツバメの巣の話は初めて聞いた。大事にしたいので、巣作りの期間は開発を避けること、徹底していきたい。

〔質問〕

1月18日に市役所であった、防災講話を公聴した。講話の冒頭で市長は、海老名市で一番危険なのは東柏ヶ谷とおっしゃっていた。おそらく、人口密度が高いことと木造住宅が多いことが要因と考えるが、市では対応策を検討しているか。

〔回答〕

防災講話では火災について言及した。火災では各個人の力が重要だと思っており、感震ブレーカーや防災ラジオの取り付けなど、個人でできることをお願いしたい。

また、地域の連帯についても重要だと考える。能登半島地震では、職員を多く派遣したが、地域のつながりの重要さを痛感した。東柏ヶ谷の地域でも連帯を深め、お互いを助ける気持ちをお願いしたい。火災があった場合、消防は出動するが、火災が広がらないようにためには個人で気を付けることも重要である。火災は地震の直後ではなく、電気の復旧が始まった段階等地震の後である。ぜひ気を付けていただきたい。

〔質問〕

海老名運動公園をよく利用するが、相模線の駅は作れないか。駅があれば、世代に関係なく多くの方が利用できるようになり、現状の車での利用も減ることから環境にも優しいと考える。一度断念したとは聞いているが、今一度市長の意見を伺いたい。

〔回答〕

海老名運動公園の駅の誘致については、要望を出し続けている。市としては、駅の用地を用意してあるのでは JR の問題である。ただ、JR がいま一番やりたいことは、手狭となっている海老名駅のホームの改修である。ホームから転落の危険もあるため、市としてもやらざるを得ないと考え、こういった状況となっている。

〔質問〕

自治会長をやっている関係で防災について考える機会が多い。その中で、大きな障害の一つとして、どこに誰が何人住んでいるのかの情報が無いこと。自治会のふれあい事業を通して、高齢者が多いということはわかったが、今後実際に災害が起こった際に問題になると思う。どうにか情報を得られないものか。

〔回答〕

基本的には自治会を中心としてやっていただきたい。しかし、自治会の加入率が下がっていることを問題としてとらえている。対策として、令和7年度に自治会の強化策を作る。市の主導で、防災の団体を作り、任意ではない会員になってもらう。そこから自治会への加入へつなぐ連携を考えている。

〔質問〕

この地域の避難所は近隣公園だが、市をまたぐ大規模な災害となった場合、どれくらいの人数まで対応できるのか不安を感じている。その場合、厚木基地内や他市の空き地に一時的でも避難できないものか。

〔回答〕

とても良い提案。近隣市については、災害協定を結んでいるため、必要なことであれば、一定の要望は通ると思う。ただ、近隣公園だけではすべての人を収容できない。公共施設や学校を含めても難しい。ここについては、食料の問題も含め今後近隣市としっかり話し合っていきたいと思う。